

## STAGE+を楽しむ(183)(HP 収載)

### —バイロイト音楽祭 2024—

#### 1. 始めに

前報(182)に引き続き、STAGE+のバイロイト音楽祭 2024 の演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回はバイロイト音楽祭 2024 の演奏を選びました。

セミヨン・ビシュコフが《トリスタンとイゾルデ》を指揮

バイロイト音楽祭 (2024 年)

バイロイト音楽祭は、リヒャルト・ワーグナーの作品のみを上演する音楽祭で、毎年7月末～8月末の1ヵ月間にわたり催されます。2024年の演目は、パルジファル、タンホイザー、さまよえるオランダ人、トリスタンとイゾルデ、ニーベルングの指輪(4部作)。本映像では世界中の歌劇場で活躍するセミヨン・ビシュコフが指揮するトリスタンとイゾルデをご覧ください。カミラ・ニールンドなど注目のワーグナー歌手が集い、極上の時間を提供してくれます。

ソリスト:

カミラ・ニールンド (ソプラノ)、クリスタ・マイヤー (メゾソプラノ)、ギュンター・グロイスベック (バス)、オウラヴル・シーグルザルソン (バリトン)、アンドレアス・シャーガー (テノール)、バーガー・ラッド (バリトン)、ダニエル・イェンツ (テノール)、ローソン・アンダーソン (バリトン)、マシュー・ニューリン (テノール)

演奏:

バイロイト祝祭合唱団、バイロイト祝祭管弦楽団

指揮:

セミヨン・ビシュコフ

曲目:

リヒャルト・ワーグナー 《トリスタンとイゾルデ》



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

今年も恒例のパイロイト音楽祭が開催されライブ配信されましたが、そのアーカイブを試聴しました。

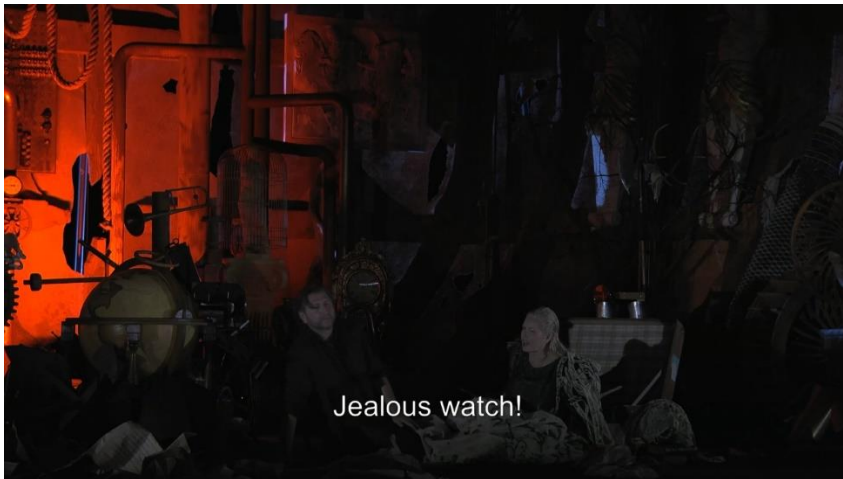
ワーグナーものは詳しくないので、予めネットで粗筋を勉強してから聴きはじめました。何しろ4時間にも及ぶ大作なので、ネットの粗筋も参考に飛ばしながら聴いていきました。

<https://opera-synopsis.sakura.ne.jp/tristanundisolde.html>

途中、接続が切れましたが、しばらくしたら自然復旧しました。

ワーグナーらしい荘重な序曲から始まり、抽象化された舞台設定で、少ない登場人物でドイツ語の歌唱が続きますが、英語の字幕があるので断片的にフォローできます。

ソリストの歌唱は荘重なオーケストラをバックに、ワーグナー歌手らしく力強いものです。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、ワーグナーらしい荘重な雰囲気とワーグナー歌手達の力強い歌唱が聴けました。

以上